

広報かねやま

KANEFYAMA



● COVER

いっぱい成長！たくさん収穫！

認定こども園めぐたま 稲刈り

October

10

2019

No.682



金山中ソフトテニス部 初の快挙！

柴田明・谷口舞優ペアが全中へ

金山中学校ソフトテニス部が新たな歴史を切り開いた――。

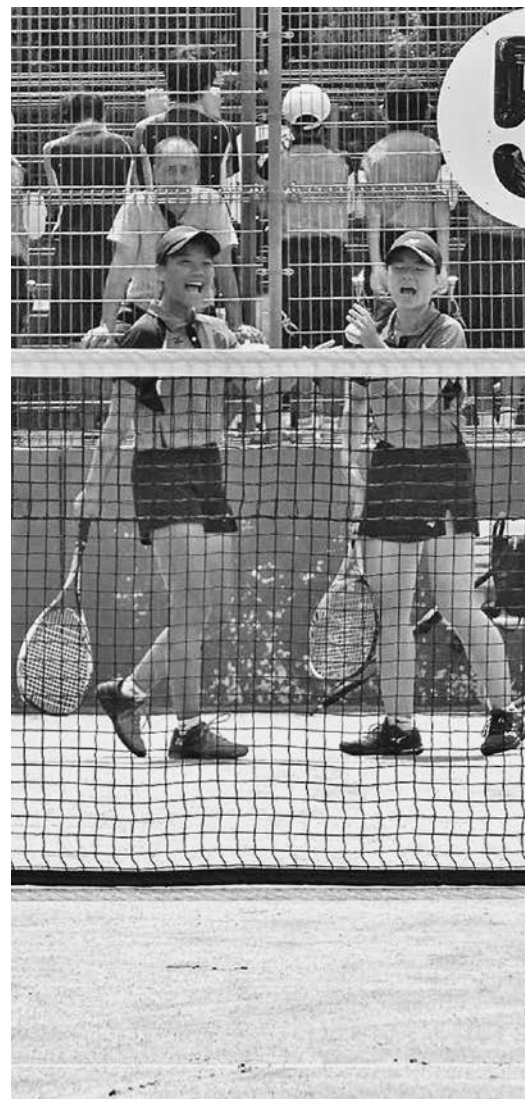
吉報が届いたのは全国的な猛暑が続いていた8月9日。第47回東北中学校ソフトテニス大会において、金山中学校ソフトテニス部の柴田明・谷口舞優ペアが見事準優勝を果たし、全国中学校ソフトテニス大会の切符を手にした。部として初の快挙に、大いに沸きました。

10歳からともにプレーしている柴田さんと谷口さんは、小学生の頃から全国大会に出場するなど、以前から注目のペア。広報かねやまでもふたりの活躍を度々紹介させていたきました。中学校入学後も、先輩に負けじと1年生から試合に出場。今年も地区中総体優勝を皮切りに、次々と駒を進め、自身ら初となる『全中』への出場を決めました。

順風満帆に見えた柴田・谷口ペアも、見えない壁に苦しみ、もがいていた時期があるそう。柴田さんは「全国を決める東北大会の朝、プレ

ッシャーでラケットが振れず、完全に自信を失っていた」と振り返ります。その時に背中を押したのが「テニスを楽しめ」というコーチの言葉。勇気をもらい頑張れたと続けます。「全中までいけたのは、顧問の先生はもちろん、コーチの方々や保護者の皆さんのおかげ」だと谷口さんは話し、この経験は宝物だと頬を緩めます。ふたりの持ち味は前向きさだと話す顧問の仁藤和弘先生は「コート後方から力強い打球を打ち込んでチャンスをつくる明さん。ネット付近でボレー・スマッシュを決めて流れを引き寄せる舞優さん。ふたりは入部当初から同級生や上級生も巻き込んで、行動力を発揮し、部を一層明るくしてくれました」とふたりを讃えていました。

「たくさん応援される選手になってほしい。そのためには笑顔で上を向いて」。ふたりらしい言葉を後輩に残し、金山中ソフトテニス部史上女子最強ペアが引退しました。



㊦ 8月20～22日に京都府で開催された第50回全国中学校ソフトテニス大会。ポイントを決め、思わずガッツポーズする柴田(左)・谷口(右)ペア ㊦ 同大会1勝で臨んだ2回戦で健闘するペア。敗れはしたが、大舞台での経験は大きな財産となった



■ も く じ ■ Contents

- P3 ◆かねやまわんとび
金山中ソフトテニス部柴田・谷口ペアが全中へ
- P4 ◆平成30年度決算
杉多家の家計簿を見てみよう
- P8 ◆町政NEWS
- P10 ◆まちのわだい
寿大学舞台発表会で日頃の練習の成果を披露
町内小学校6年生が金山中へ体験入学
4回目の有屋ふるさと学習で地域の名所をめぐる
芸工大生が旧林業センターで木工WS
今年の三浦陶房展は「線」をモチーフに
ふくすけの家利用者がめごたまと交流
金山中3年生が母校訪問で学習補助など
- P12 ◆お知らせ掲示板
各展示のご案内 ― 芸術の秋 ―
議会報告会を開催します！
- P14 ◆ほっとクリニック vol.128・道草便り vol.18
ぶんげい・東京金山会通信 No.6

= 今月の表紙 =



9月18日、認定こども園めごたまの年長児たちによる稲刈りが行われました。

慣れない作業に最初は苦戦するも、さすがはめごたまっ子。しばらくすると器用に鎌を使い

こなし、あっという間に園の田んぼが丸裸になりました。稲は乾燥させ、収穫感謝祭で餅つきをして食します。金山の大自然に囲まれて、稲と同じく園児たちは大きく成長中です。

10月行事予定表

【町立金山診療所 診療予定】

㊦ ▶ 疼痛外来 ㊦ ▶ 小児科外来 ㊦ ▶ タ診

1 (火)	乳児健診、ブックスタート	
2 (水)	すこやか相談	㊦
3 (木)	ベビーマッサージ	㊦
4 (金)		
5 (土)	子供伝統芸能発表会	
6 (日)		
7 (月)	心配ごと相談、拠点づくり 小中学校芸術鑑賞教室 お箏にふれてみよう①	㊦
8 (火)	女性ドック健診	
9 (水)	すくすくプレイランド	㊦
10 (木)	乳幼児と生徒のふれあい教室 男性ドック健診・総合健診	㊦
11 (金)	乳幼児と生徒のふれあい教室 森の演奏会	
12 (土)		
13 (日)	第40回金山町産業まつり	
14 (月)		
15 (火)	心配ごと相談、1歳2歳児歯科健診 わらべうた・読み聞かせ教室	
16 (水)	すこやか相談	㊦
17 (木)	ホットさろん、寿大学健康教室	㊦
18 (金)	森の演奏会	
19 (土)	とこみどり少年野球大会	
20 (日)	西郷地域もったいないフリーマーケット 竜馬っ子フェスティバル 新庄南高金山校学校祭	
21 (月)	消防団秋の幹部会議、拠点づくり お箏にふれてみよう②	㊦
22 (火)		
23 (水)	秋のかねやま展 (山形市・25日まで) 献血、子宮頸がん・乳がん検診 すくすくプレイランド	㊦
24 (木)	年中児健診① 男性ドック健診・総合健診	㊦
25 (金)	心配ごと相談、農業委員会総会、 森の演奏会	
26 (土)	金山中合唱祭	
27 (日)	金山小学習発表会 明安っ子フェスティバル	
28 (月)	心の健康相談、拠点づくり	
29 (火)		
30 (水)	下期区長会議、女性ドック健診	
31 (木)	リフレッシュヨガ教室	㊦

平成30年度決算

皆さんが納めた税金はどのように使われているか？
町の財産や借金はどれくらいあるのか？
平成30年度決算の概要をお知らせします。

【お問い合わせ】
役場総合政策課 ☎52-2111（内線234）

③特別会計の状況 — 診療所など特定の事業収支はどうか —

特別会計とは、特定の事業を行うための会計で、その収支を明確にするために設置するものです。介護保険料は一般会計でも負担し、料金の抑制を行っています。また、町立金山診療所の経営は非常に厳しく、一般会計で約2億円の運営費補助を行っています。

※収益的：水道水を作り、各家庭へ送り届けるための費用や減価償却費。主収入は水道料金や一般会計補助金。
※資本的：水道管などの施設整備費用や借入金返済。

会計区分		歳入	歳出
国民健康保険特別会計（事業）：医療費		1,379万円	1,290万円
国民健康保険特別会計（直診）：診療所		4億 712万円	4億 24万円
介護保険特別会計		8億3,159万円	7億9,940万円
後期高齢者医療特別会計		6,392万円	6,244万円
農業集落排水事業会計		6,838万円	6,447万円
公共下水道事業会計		1億7,330万円	1億6,385万円
水道事業会計	収益的	1億9,957万円	1億9,052万円
	資本的	0万円	7,825万円

④基金残高の推移 — 町にどれだけの貯金があるか —

平成30年度決算は黒字となりましたが、これは貯金となる財政運営基金を3億3,000万円活用した結果。基金は後年度の貴重な財源であり、災害対応の財源としても活用します。基金残高の増加につながる事業の見直しを行っていきます。

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
財政運営基金（財源不足補填）	7億5,212万円	4億8,860万円	7億 105万円
減債基金（借金返済）および特定目的基金等	5億7,119万円	6億6,041万円	4億5,524万円
合計	13億2,331万円	11億4,901万円	11億5,629万円

⑤地方債残高の推移 — 町にどれだけの借金があるか —

地方債残高はこれから返済するいわば「借金」の金額で、全会計では約65億円となっています。返済時に国の補助がある過疎債などを一部活用していますが、健全な財政運営に向けて計画的な事業の実施をする必要があります。

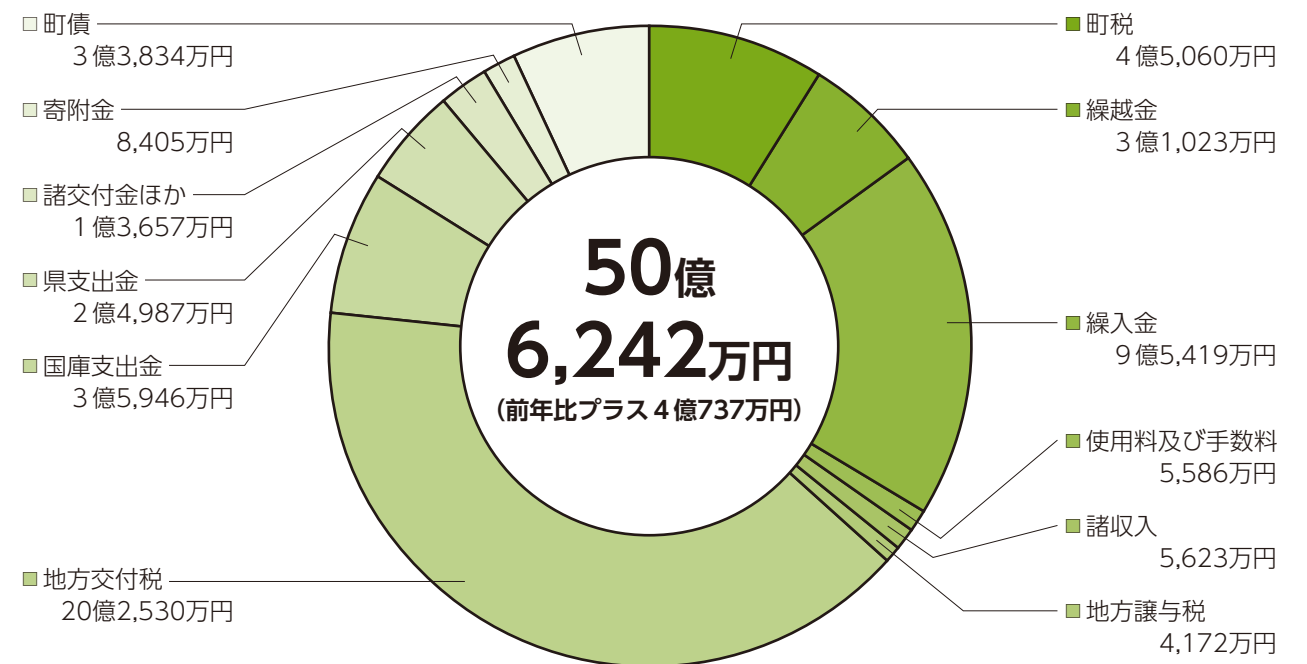
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
一般会計	44億2,256万円	44億3,101万円	44億6,885万円
国保直診特別会計（診療所）	6,940万円	7,350万円	1億1,912万円
農業集落排水事業会計	1億7,462万円	1億4,668万円	1億1,981万円
公共下水道事業会計	13億3,601万円	12億7,912万円	12億1,663万円
水道事業会計	6億9,812万円	6億3,939万円	5億7,510万円
合計	67億 71万円	65億6,970万円	64億9,951万円

平成30年度決算について、一般会計決算は「歳入」・「歳出」とともに大きく増額しました。

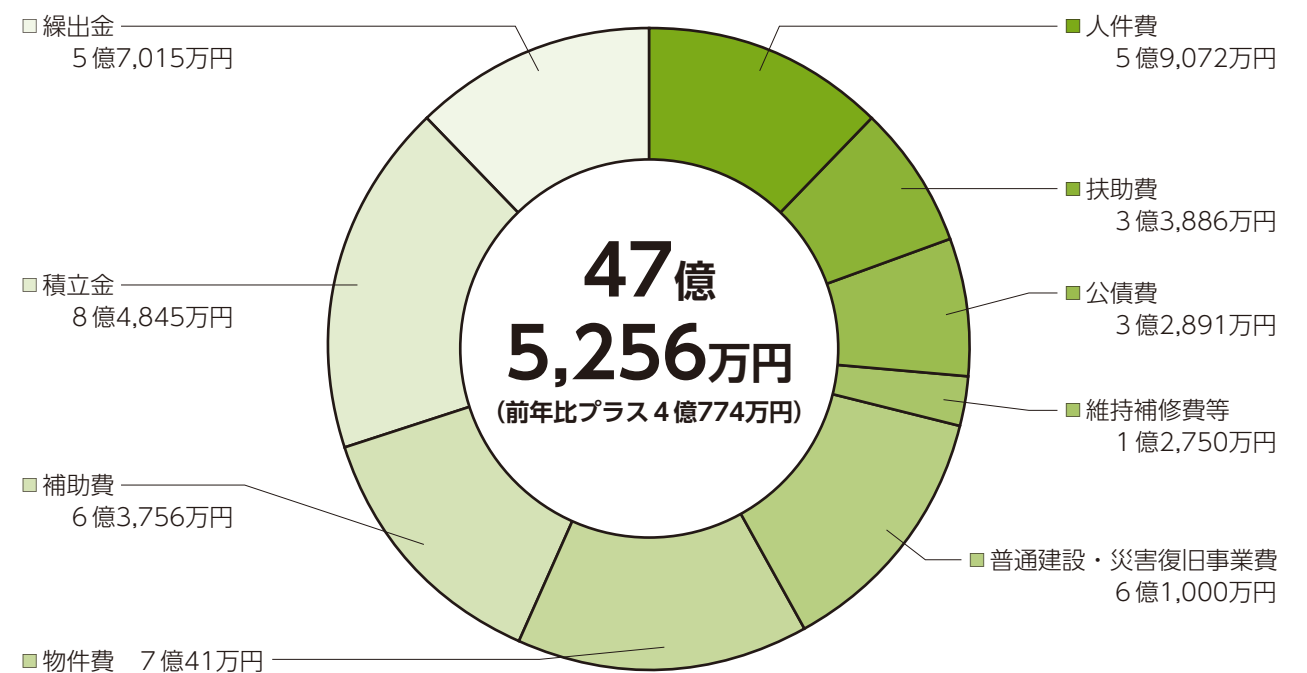
前年度と比較し、一般財源補てんのための財政運営基金繰入金が5,920万円増加したことや、中央公民館建設を先送りし、関連する中央公民館建設基金と少額残高基金を廃止したため、それらの基金残高4億5,922万円を一般会計予算経由で財政運営基金等へ移行したことなどが、主な要因として挙げられます。

また、平成30年8月豪雨による災害復旧事業に9,647万円を要したことや、建設事業である旧認定こども園保育園舎や旧西田邸の改修事業に要した分なども増加要因となっています。

①一般会計 歳入 — 1年間にどのような収入があったか —



②一般会計 歳出 — 1年間にどのような支出があったか —





金山町在住の杉多家 幸せな家庭にも家計の悩みはつきもの――

平成30年度一般会計決算を、昨年の山形ふるさとCM大賞(山形テレビ主催)に登場した「杉多家」の家計に例えてみました。

行政には特有の収入と支出があり、一般家庭とは少し違った内容ですが、決算や財政の状況をより身近に感じていただければ幸いです。

収入

薄給の杉多家は、祖父母からの仕送りが家計の大部分を支えています。この年の足りない分は、やむを得ず貯金を取り崩してやりくりしました。

平成29年度と比べると			
①町税	給料(基本給)	45万円	(-1万円)
②地方譲与税	祖父母からの仕送り	281万円	(+4万円)
③地方交付税	パート収入	11万円	(+1万円)
④国庫支出金	お年玉	8万円	(-3万円)
⑤県支出金	ローン(借入金)	34万円	(+4万円)
⑥諸交付金ほか	貯金の取り崩し	96万円	(+34万円)
⑦使用料手数料	繰越金	31万円	(+1万円)
⑧諸収入	収入合計	506万円	(+40万円)
⑨寄附金	貯金残高	116万円	(+1万円)
⑩町債			
⑪繰入金			
⑫繰越金			

①町税：町民の皆さんから納めていただく税金／②地方譲与税：道路税、自動車重量税の国から譲与されたお金／③地方交付税：国の所得税、法人税、酒税などを一定割合で町の財政需要に応じて国から交付されるお金／④国庫支出金：事業を行うための国からの負担金／⑤県支出金：事業を行うための県からの負担金／⑥諸交付金ほか：自動車取得税や地方消費税等の地方へ分配されるお金／⑦使用料・手数料：公共施設の使用料、住民票や戸籍などの交付手数料／⑧諸収入：預金利子や町が融資した貸付金の返済金など／⑨寄附金：ふるさと寄附など個人や団体からいただいたお金／⑩町債：事業を行うために借り入れたお金／⑪繰入金：基金から繰り入れたお金／⑫繰越金：前年度からの繰り越したお金

平成30年度一般会計決算を1000分の1に
年収およそ500万円の家計に例えてみました！

平成30年度決算

すぎた

杉多家の家計簿

昨年より減少したものの、家計を圧迫している仕送りが悩みの種。

大雨によって壊れた箇所を含めて修理したため、リフォーム代が増加しました。

支出

平成29年度と比べると			
食費	59万円	(+2万円)	①人件費
医療費	34万円	(-3万円)	②扶助費
光熱水費などの雑費	133万円	(+4万円)	③物件費
車などの修理代	13万円	(-2万円)	④補助費
仕送り	57万円	(-8万円)	⑤維持補修費等
ローンの返済	33万円	(±0万円)	⑥繰出金
家のリフォーム代	61万円	(+10万円)	⑦公債費
貯金	85万円	(+37万円)	⑧普通建設・災害復旧事業費
支出合計	475万円	(+40万円)	⑨積立金
余り	31万円	(+2万円)	
ローン残高	447万円	(+4万円)	

①人件費：町職員給与、町議会議員・各種委員会委員報酬／②扶助費：法令に基づき支出される経費、児童手当、医療扶助など／③物件費：消耗品費、業務委託料など／④補助費：個人や団体への補助や負担金／⑤維持補修費：公共施設の維持費、修理費／⑥繰出金：事業を行うために貯金から繰り出したお金／⑦公債費：事業を行うために借り入れたお金の償還金／⑧普通建設・災害復旧事業費：道路の整備、公共施設などの建設に要したお金／⑨積立金：将来事業を行うために積み立てしているお金

9月15日、町と町社会福祉協議会主催による令和元年度福寿会が、新庄南高校金山校体育館を会場に開催されました。記念式典では、鈴木町長が「今後皆様さんが健康で元気に暮らせるまちづくりを進める」とあいさつし、町からの祝品を贈呈。そのほか、町老人クラブ連合会・県遺族会・町連合婦人会・山形新聞社からそれぞれ該当者に記念品が贈られました。また、アトラクションでは町芸術文化協会加盟団体の皆さんなどが、歌や踊りで会場を盛り上げていました。

町の70歳以上の方は、男性594人、女性864人で合計1,458人（9月1日時点）。その中で今年度、白寿を迎えられる方は4名、そして100歳以上の方はなんと9名もいらっしゃいます。下には町内のご長寿25名をご紹介します。これからも元気に長生きされることをお祈りします。

池田	星川	横山	五十嵐	正野	伊藤	佐藤	笹原	近岡	大場	大沼	吉田	栗田	笹原	小野	三上	丹	橋間	高橋	小沼	齊藤	柿崎	栗田	星川	高橋
キヨエ	オエ	サク	スチ	菊松	勇	東助	はる	武男	ミチ	益榮	こと	サン	キエ	サク	ふさ	運太	吉藏	マサ	金五	ヒデ	ケサ	サク	ミチ	シズ
(97)	(97)	(97)	(97)	(97)	(97)	(98)	(98)	(98)	(98)	(98)	(99)	(99)	(99)	(99)	(99)	(100)	(100)	(100)	(100)	(101)	(102)	(103)	(103)	(104)

※敬称略・生年月日順／（ ）は9月1日時点の年齢

これから元気で長生きを 令和元年度福寿会に約250名が出席

3年目の「かねやま大楽校」が開校 自信をもって発信できるスキルを磨く

今年度の「かねやま大楽校」が9月4日開校し、蔵史館を会場に第1回講座を開きました。

この日の講師は、真室川町移住コーディネーター梶村勢至さんら2名。「金山らしさ」をテーマに、参加した20名の若者が意見を出し合いました。

講座は12月まで全5回。2回目以降は、都会の人に町の魅力を知ってもらうためのPRグッズの制作や、修業旅行として、東京でのイベントに参加する予定です。参加者同士や都市在住者との交流を通して、関係人口の拡大と自らのスキルアップを目指します。



須藤教育長には、9月14日に鈴木洋町長から辞令が交付された

新 教育長に須藤信一さんが就任 「子どもたちの笑顔が何よりも大切」

町の教育長として、新たに須藤信一さん（樋白）が就任しました。

須藤教育長は昭和32年生まれの62歳。昭和54年から教員として活躍され町内には中田小学校など計14年間勤務。平成26年度からは金山小学校の校長を務められました。

就任にあたり「子どもたちの笑顔が何よりも大切。そのためには教員の健康が不可欠。その環境を整えることが自分の役目だ」と須藤教育長は話します。これまでの知識と経験を生かして、町の教育行政に新たな風が吹くことが期待されます。



参加者は「金山らしさ」を学ぶことで、地元の魅力を再発見した

いざという時に行動できるように 地震と大雨を想定して総合防災訓練を実施

9月1日、町総合防災訓練を実施し、町内全31地区での避難訓練に加え、町民グラウンドにおいて、各種防災訓練を行いました。新庄盆地断層を震源とする大規模な地震発生のほか、今年は発達する低気圧の影響による大雨も想定。地域住民や消防団を中心に、水防訓練や応急処置訓練、避難所運営訓練などを行いました。



昨年町を襲った集中豪雨のように災害はいつ起きるか分かりません。「いざ」という時に、迅速かつ的確に対処できるように備えることの大切さを参加者は学びました。



①災害情報収集訓練ではドローンで上空から河川を監視 ②羽場地区日赤奉仕団が中心となって実施した食糧供給訓練 ③避難所運営訓練では十日町地区の中学生が高齢者を誘導 ④今年初めて実施した水防訓練。消防団を中心に土のうを作成



①令和初の福寿会には約250名が参加。連合婦人会会員の皆さんが参加者をもてなした ②今年米寿を迎えられる47名を代表して関伊勢治さんに賀詞を贈呈 ③参加者に用意された赤飯には、子どもたちからの直筆メッセージが ④「和太鼓サークル響華」による迫力の演奏。そのほかにも町芸術文化協会加盟団体の方々などが歌や踊りで会場を盛り上げた ⑤区長公民館長連絡協議会長の矢口卯之助さんの音頭で元気に「万歳三唱」 ⑥-⑨今年白寿を迎える4名の皆さん。順番に佐藤東助さん、近岡武男さん、笹原はるさん、伊藤勇さん

ふくすけ利用者がめごとまと交流 「みんな元気でめんどいなぁ」

9月4日、認定こども園めごとまの年長児たちが、神室ふくすけの家を訪問し、利用者の皆さんとふれあいました。世代間交流を通して生活の刺激になればと昨年に引き続き実施したもの。手遊びや金山小唄の踊りの披露、似顔絵をプレゼントするなどして、楽しいひと時を過ごしました。利用者さんは「みんな明るくて可愛い。元気が出た」話し、喜んでいました。



▲元気な歌と踊りを披露。「みんな元気に長生きしてね！」

金山中3年生が「母校訪問」 学習補助や校内の清掃を

小中学校の連携を深めるために取り組んでいる「母校訪問」が9月5日に行われ、金山中3年生が出身小学校を訪問し、生徒らは学習補助や校内の清掃などを実施しました。金山小では、1年生の図工の授業と一緒に紙版画を制作。帰り際には「もう帰っちゃうの？」と話し、寂しそうに見送る姿が印象的でした。中学生も成長した姿を先生方に見せることができ、誇らしげな笑顔を浮かべていました。



▲金山小では5年生の「図工」や6年生の「国語」を訪問した

▼しっかりきつめに編むことが丈夫なイスを作るポイント



芸工大生が旧林業センターを利活用 ものづくりの拠点になればと木工WS

旧林業センター（片貝）の活用方法を模索している東北芸術工科大学の学生プロジェクトが8月31日、木工ワークショップを開催しました。「実際に手を動かして空間を作りたい」との思いで平成23年から整備開始。この日は、綺麗にリノベーションされた空間で約30名がコースターや麻縄イスの制作にチャレンジしました。学生らは「もっと地域の人に関われる場所になれば」と話していました。

▼初展示の風鈴。外から入る風に揺れ心地よい音色を響かせた



蔵史館で三浦陶房展 「線」をモチーフにした陶器がずらり

宮城県加美町で三浦陶房を営む三浦早苗さんと長男征太郎さんの作品展が9月9日～16日、蔵史館で開催されました。今年のテーマは「陶と遊ぶ～土と線が躍る～」。『線』の造形を加えた陶器類がずらりと並び、来場者は手に取るなどして見入っていました。征太郎さんは「今年で9年目。長く続けることができたのも町の皆さんのおかげ。できればまだまだ頑張りたい」と笑顔で話していました。



1_須賀洋子さん（松柳会）の舞踊「恋千鳥」 2_きららクラブ金山女性委員会による合唱 3_八幡会の柴田栄さんは自身作曲の「かむろの里下向」 4_龍馬粋活きクラブの踊り

4回目の有屋ふるさと学習 名所めぐって有屋地域を学ぶ

8月31日、有屋小学校ふるさと学習が行われ、全校児童が保護者や地域の方と一緒に徒歩で地域をめぐりました。有屋観音、下向観音堂、馬頭観世音の3か所で、有屋をよく知る地域の先生がそれぞれの成り立ちなどを説明し、児童はメモを取りながら熱心に聞いていました。お昼は、地元の食材がたっぷり入った豚汁でお腹を満たし、有屋地域の魅力を全身で感じた1日となりました。



▲厳肅な空気が漂う有屋観音。ここでは柴田清次さんが説明

まちのわだい



身近なわだい、お寄せください。
総務課 広報情報係 ☎52-2111(内線225)

寿大学舞台発表会 練習の成果を歌や踊りで披露

9月19日、寿大学舞台発表会が中央公民館大ホールで開かれ、約100名の来場者が町内各老人クラブの皆さんの歌や踊りを楽しみました。練習の成果を披露したのは飛び入り参加を含めた9組。舞踊「南部よされ」を披露した龍馬粋活きクラブの島森美奈子さん（宮）は「仲間を募って出演した。少ない練習で臨んだが上出来。何より楽しくできた」と満足げに話していました。

▼先輩の教室にお邪魔して先生から直接指導を受ける場面も



「中学校って楽しい！」 町内6年生が金山中へ体験入学

中学校生活の楽しさを味わい、スムーズな進学となるようにと町内の小学校6年生が8月29日、1日限定で金山中学校での生活を体験しました。児童らは1コマ50分の授業を5時間目まで受けたほか、先輩たちと同様のスケジュールで1日を過ごしました。ある児童は「特に数学の計算が難しかった。色々な面で中学校は違うと思ったが、楽しかった」と話し、期待に胸を膨らませていました。

みんなでつくる

安全で安心な「かねやま」

安心して暮らせる地域社会の実現のため、10月11日から20日までの10日間、全国一斉に地域安全運動が実施されます。犯罪や事故のない安全で安心なまちづくりのため、地域全体で声かけや子どもたちの見守りなど、防犯活動に取り組みましょう。

▼運動の重点

- ①子供と女性の犯罪被害防止
- ②特殊詐欺の被害防止
- ③施錠の徹底による住宅対象侵入犯罪、自転車盗、車上ねらい被害の防止
- ④青パト活動等の自主防犯活動の活性化、防犯カメラ等防犯設備の拡充等による犯罪の防止

図 役場町民税務課くらし安全係
☎52-2111（内線246）

歴史学講座で飯豊町へ！

今年は置賜三十三観音の御開帳年で、飯豊町内の観音様を参拝します。特に、町内最古の木造御堂建築の遺構として貴重な中村観音を詳しく学習します。

- ▼日時 10月29日（火）8時～18時
- ▼費用 850円（昼食代）
- ▼見学 「飯豊町」置賜三十三観音（黒沢観音、中村観音）

図 中央公民館（生涯学習・社会教育係）
☎52-2902

消費税軽減税率制度の説明会

- ▼日時 10月23日（水）14時～15時
10月28日（月）10時～11時
- ※いずれも内容は同じ

▼対象 全事業者

▼場所 新庄税務署

▼内容 消費税軽減税率制度の概要など

図 新庄税務署 法人課税部門
☎22-5170

自衛官候補生を募集します

▼対象 日本国籍を有する18歳以上33歳未満の男女

▼申込 11月8日（金）締め切り

▼試験 11月16日（土）

図 自衛隊新庄地域事務所
☎22-5057

秋の産直キャンペーン

▼期間 10月12日（土）～27日（日）

▼場所 最上管内産直施設12店舗

▼内容 新米や各産直イチ押しのお供の「ご飯のお供」の販売など

図 最上総合支庁 農業振興課
☎29-11315

シルバーフェスティバル

▼日時 10月19日（土）10時～14時

▼場所 ゆめりあ花と緑の交流広場

▼内容 事業紹介、各種展示、振る舞い、即売、ちびっこコーナーなど

図 新庄・最上地域シルバー人材センター
☎22-3065

庄内職業能力開発センター
オープンキャンパス

▼日時 10月20日（日）

9時30分～15時30分

▼内容 金属技術科に関する概要説明、施設内見学、体験実習など

図 山形県立庄内職業能力開発センター
☎0234-131-2700

やまがたフラワーフェスティバル
2019

▼日時 10月19日（土）10時～16時
10月20日（日）10時～14時

▼場所 イオンモール天童

▼内容 県内栽培花きの品評会、出品物の販売、小学生を対象とした花の販売、小学生を対象とした花の育教室（事前予約制）など

図 山形県農林水産部 園芸農業推進課
☎023-630-2282

やまがた健康フェス2019

▼日時 10月19日（土）10時～17時
10月20日（日）10時～16時

▼場所 山形ビッグウイング

▼内容 健康、医療、介護予防に関する各種イベント、セミナーなど

図 山形県健康福祉部 健康づくり推進課
☎023-630-2919

相続登記はお済みですか？

相続登記をしないと、権利関係が複雑になり登記手続が困難となりますので、早めの相続登記をお勧めします。なお、令和3年3月31日までの間、一筆の土地の価額が10万円以下の相続登記について、登録免許税が無税です。法務局では、相続などの登記に関する相談を実施しています。予約制となりますので、次まで事前にご相談ください。

図 山形地方法務局 新庄支局
☎22-7528

林退共の退職金請求について

林業の仕事に従事されたことがあり、当時林業退職金共済制度に加入していた方、もしくは加入していたかもしれない方で、退職金請求手続きをした心当たりのない方はお問い合わせください。

図 林業退職金共済 山形支部
☎023-688-8100

マイクロバスの適正な利用を

運転手付きの白ナンバーのマイクロバス（白バス）は違法です。事故に遭遇した場合、保険の適用がないことがあります。運転手付きマイクロバスの手配は、国土交通大臣の許可を受けたバス会社を利用しましょう。

図 東北運輸局 山形運輸支局
☎023-686-4712



議会報告会を開催します！

【お問い合わせ】金山町議会事務局 ☎52-2111（内線300）

町議会では、町民のご意見を反映させるため、平成23年度から議会報告会を開催しています。皆さんの声をぜひ議会へお届けください。

▼時 間 19時～20時30分

▼テーマ ①決算と財政の概要
②議会アンケートの結果概要

期 日	会 場	対象地区
10月15日(火)	七日町公民館	十日町・羽場・七日町・内町・魚清水・飛森
10月16日(水)	上台公民館	山崎・上台
10月18日(金)	三枝公民館	荒屋・三枝
10月21日(月)	蒲沢公民館	下野明・檜台・片貝・安沢・田茂沢・蒲沢
10月24日(木)	宮公民館	稲沢・宮・柳原・下向・入有屋
10月25日(金)	朴山公民館	漆野・谷口・朴山・板橋・長野
10月28日(月)	上中田公民館	杉沢・外沢・上中田・下中田・小蟬

●樋口勝也 彫刻展「雪国に生きて」

▼日時 10月18日（金）～24日（木）
9時～16時30分

▼場所 街並みづくり資料館「蔵史館」
（☎0233-52-7006）

▼作者 樋口勝也さん（県美展委嘱白土会
会員／第65回齋藤茂吉文化賞受
賞／金山町在住）

▼内容 雪国の生活の中で感じて制作した
女性像、子供像のほか、折りの姿
を中心に制作した彫刻などの展示



昭和60年度山形県美術展
奨励賞受賞作「雪国」（左）
など彫刻20点、絵画10点
が展示される

【お問い合わせ】

金山町中央公民館（教学課 生涯学習・社会教育係） ☎52-2902

●墨の社中展

▼日時 10月10日（木）～14日（月・祝）
9時～16時30分 ※最終日は昼
12時まで

▼場所 街並みづくり資料館「蔵史館」

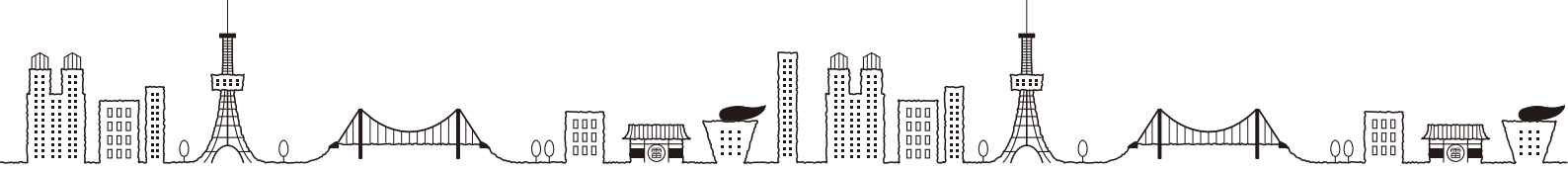
▼内容 大人の生涯学習塾大郷書院代表の
寒河江一隆氏と門下生による書道
作品を展示します。2年に一度の
発表の機会となります。



前回開催時（H29）も多くの方が鑑賞された

芸術の秋





東京金山会通信 No.6

天高く馬肥ゆる秋——。暑さも過ぎて、秋の空になり朝晩涼しくなりました。秋の収穫が待ち遠しいですね。

8月初旬、東京目黒区のスーパーで我が故郷金山産のニラ「達者de菜」を発見！生産者は有屋ファームさんとのこと。早速10束購入してニラ玉を作り、故郷の母親の味を楽しみました。また、8月15日にはマルコの蔵前のウェブカメラで金山まつりの山車を東京から懐かしく拝見しました。また、金山町ホームページ内東京金山会のページへ金山会だよりを掲載しました。ぜひご覧になってください！

●東京金山会親睦会のお知らせ

会員様との交流の輪を広げるために、親睦会を開催します。親しい方などとお誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください。食材は金山町のちょうほう屋より仕入れる予定です。故郷の味をお楽しみください。

▼日時 11月9日(土) 13時～16時

▼場所 東京金山会事務所

▼対象 金山にゆかりのある方ならどなたでも大歓迎

▼会費 2,000円

※申し込みは上記の藤山まで(ショートメール可)

問い合わせ

東京金山会 広報担当(藤山善夫)

☎080-5525-0435

✉fujiyama.d.siren@ae.auone-net.jp



⑥金山産のニラ「達者de菜」。最上広域にら部会の統一ブランドです。私は目黒区のスーパーで購入しましたが、どうやら都内の各スーパーやデパートで販売されているよう。東京で新鮮な地元野菜を食べられるのはとっても嬉しいことですね！お住まいの近くで探してみても？／⑥金山町のホームページから故郷の様子を「ウェブカメラ」で見ることが出来ます。カメラは365日24時間リアルタイムで閲覧可能。マルコの蔵と大堰公園の2箇所からの映像を楽しむことができます。ぜひご覧ください！

町立金山診療所だより

ほっとクリニック vol.128

予防接種のお話

町立金山診療所
小児科 藤山純一



今回はこどもの予防接種のお話です。

以前はこどもの予防接種といえば、BCG、三種混合、麻疹、ポリオ(内服)などが一般的でしたが、ここ10年くらいで非常に多くなってきました。現在こどもに使われている主なワクチンは、国が接種を勧めて自治体が費用を負担する定期接種では、次のものが一般的です。

●インフルエンザ菌b(細菌性髄膜炎の予防) ●小児用肺炎球菌(細菌性髄膜炎の予防) ●B型肝炎(輸血、血液製剤からの感染予防) ●4種混合(ジフテリア、破傷風、百日咳、ポリオの予防) ●BCG(結核の予防) ●麻疹・風疹 ●水痘 ●日本脳炎 ●ヒトパピローウイルス(中学1年女子、子宮頸ガンの予防) ●個人が希望で受ける任意接種では、●ロタウイルス(感染性胃腸炎の予防) ●おたふくかぜ ●インフルエンザ

こどもの予防接種では、その病気にかなりやすい年齢になる前に受けておくこと、予防効果が長く続くように複数回受ける必要があること、複数のワクチンの同時接種がより効果があることなどの特徴があります。そのため、以前に比べて接種のスケジュールが混み合ってきました。日本小児科学会で勧めているスケジュールでは、生後2ヶ月に4種類から開始し、3ヶ月5種、4ヶ月3種、5ヶ月2種、7ヶ月1種、1歳3種、1歳1ヶ月3種など、大変な忙しさで、うかうか風邪も引かせられません。微熱や風邪のときにワクチンを受けて良いかと聞かれることがあります。軽い風邪症状や37・5度以下の微熱のときは、ワクチンの重要性をお話しして積極的に受けることをお勧めしています。ニコニコ顔で受診した赤ちゃんに4本もの注射をして大泣きさせるのは本当に心が痛みますが、将来の健康のためと思って心を鬼にしています。

予防接種を徹底してきたおかげで、乳幼児で重症となる細菌性髄膜炎は激減、結核・麻疹・風疹もほぼ消失、百日咳・ロタウイルス胃腸炎もかなり減っています。感染の機会の多い水痘、おたふくかぜ、インフルエンザでの効果はいまひとつの印象ですが、積極的に予防接種を受けて家族や学校・園での感染を減らし、こどもの健康を守るようにしましょう。



Vol.18

山形大学の地域連携型サークル「Team道草」

道草だよりでは、彼らの町内での活動を紹介！

「金山町×大学生」で産まれる新たな可能性を模索します



お話を伺った樋渡さんと取材班とで記念撮影

広報かねやま9月号「道草便りvol.17」の内容に誤りがありました。下記のとおり訂正してお詫び申し上げます。

㊦内町地区 ㊦十日町地区

※本文中の表記も「十日町」ではなく「内町」となります。

三枝地区「三枝の元気印」

8月21日猛暑。三枝地区に突撃取材。

今回はどんな出会いがあるのかワクワクしながら、でも人がいない焦りを抱えながら(笑)、元氣溢れる樋渡さんというお父さんに会いました。

牧草や子牛を育てながら、熊のワナや鳥居まで作る何でも屋さん。小学生が登校する際、挨拶は樋渡さんから元氣よく何度も声をかけているのだとか。とにかく明るく元氣な地区の大陽のような存在です。私たちが取材の中でも終始笑われました。

そして、私たちがこれまで25地区ほど取材してきた中で、金山の一番の魅力は「人」だということを三枝地区の樋渡さんに出会って確信しました。

「三枝は面白いべ？」「今が楽しいんだ」と自信を持って、地区の自然の暮らして身を任せて過ごしている姿を見たら、きっと三枝地区に移住したい！と思う若者はたくさんいると感じました。住んでいる人が楽しく生活している姿はすぐくっついていいと教えてくれた三枝地区でした。

ぶんばい

金山杉俳句会報 第四三二回

いきなりの雨に咽たら心太
十葉や記憶の底の郷の庭

夏帽子沈みかけたる陽に被せ
三峰の広田に開く稲の花

朝焼けに美しき神室のシルエット
故郷の月の露けき夜明けかな

乳母車やさしき合歡の風貫ふ
絵手紙に一句そへある涼新

封人の家や嬬が夏炉焚く
はらからの集へば嬉し鳳仙花

かねやま紅風会

庭守や手入れの終へし七変化
初孫をひと目見せたき盃蘭盆会
筆を持つ手には短かし長き夜
送り火や漂ふ想ひとめどなく

法師蟬ひと息ついてまた鳴けり
秋桜の揺れ合ふ中を歩みをり
水を飲み再び戻る踊りの輪
手花火や四つ並んだ膝小僧

せゝらぎを追ふ風音や秋立てり
朝霧のカーテンひけり友の顔
山ひとつ道に生まれて夏終る
七夕や願ひ心は疾ふに過ぎ

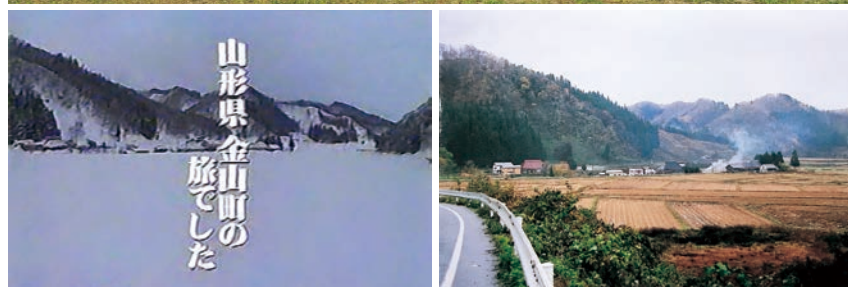
秋うらゝ遠野めぐりの河童淵
癒し風呂窓に張りつく青蛙
郷の威や此処ぞとばかり山車の笛
物音をしばし呑み込む大西日



いまこそ集落創生

第19回 田茂沢地区

④道草ぶんこう。目を引くカラフルな壁画は、平成20年当時、東北芸術工科大学の学生だった近藤亜樹さんが地区の子どもたちと一緒に描いたもの。今では国内外で活躍するアーティストに成長 ⑥テレビ番組「田舎に泊まるう!」で金山町が放送された際的一幕。意外と知られていないが、最終カットは田茂沢地区焼山の風景が使われた。当時(左)と現在(右)とを比較



町中心部内町地区から北東へ約3km、南沢道路の最後の下り坂を降りると、どこか懐かしい茅ぶき屋根の原風景が広がります。この辺りは集落の玄関口でもある田茂沢地区焼山。築150〜300年にもなる風情ある家屋が3軒も並んでいるのは、町内でも珍しい光景ではないでしょうか。水田も昔ながらの形を残しており、棚田のように見える箇所では、田植えが終わる頃にホタルが飛び舞います。神室山と台山を源流とする清流上台川が流れ、多くの動植物を観察することができます。

現在、約25世帯100名前後が暮らす田茂沢地区。「若者や子どもたちが意外と多く、活気に満ちあふれている。」佐藤忠義区長は話します。そのシンボルになっているのが『道草ぶんこう』。建物に一步踏み入ると「長い人生、たまには道草して、今の自分を見つめ直してみよう」とそんな声が聞こえてくるようです。ぶんこうを拠点に、山形大学のフィールドワーク授業を受け入れ、1泊2日の農家民泊研修を通して、地区の宝物を見つける活動を続けてきました。佐藤区長は「代々引き継がれてきたものを見直し、再生する時期に来ている。道草ぶんこうはその良い例だ。また、地区財産の整備も、住民が得意分野を活かして協力すればできるはず」と力を込めます。

今を生きる自分たちは未来へのつなぎ役——。砂防ダムの建設や地区を通る県道の拡幅、景観を意識した区画整理など長年の課題があります。それらは全て未来のため。みんなが幸福になれるよう、自然豊かな古き良き田茂沢を次世代に残していくことが住民の願いです。

編集 幸記

▼10月から消費税率が10%に引き上げられました。軽減措置やポイント還元など、家計を支える対策がなされていますが、これがなんともやこしい。まだ実感はありませんが、2%の差がじわじわ家計を圧迫しそうです。

▼大きな変化がもうひとつ。増税分を財源に始まった幼児教育の無償化です。こちらも対象者や対象費用などの要件は少し複雑。消費税に関してですが、知っているかどうかで差がつきます。情報には敏感に！(つま)

金山町の人口は、5,439人(8月末現在)

男性	2,647人(-5)
女性	2,792人(-8)
世帯数	1,763世帯

▼8月の異動
出生 1人
死亡 10人
転入 3人
転出 7人